

平成26年度 国立江田島青少年交流の家教育事業

教員免許状更新講習「授業づくりに活かせる体験活動」 ～海が学校！海が先生！～ 実施報告書

【趣 旨】 小学校教員等が体験活動の意義について理解するとともに、「海」を中心とした基本的な体験活動指導技術を実習を通して身に付ける。また、学習指導要領における体験活動の取扱いを理解し、教育課程の編成や教育活動に体験活動を取り入れる方法を講義や実習を通して習得する。

【主 催】 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立江田島青少年交流の家

【期 日】 平成26年12月24日（水）～12月26日（金） 2泊3日

【会 場】 国立江田島青少年交流の家

【対 象】 平成27年3月31日及び平成28年3月31日が最初の修了確認期限の者で以下に該当する者。

小学校・特別支援学校（小学部）に教員として勤務している者

小学校・特別支援学校（小学部）教員として任命・雇用される見込みのある者
（非常勤リストに登録していること・採用内定がされていること等）

小学校・特別支援学校（小学部）教員勤務経験者

その他の校種の者（養護教諭・栄養教諭は除く）も、本講習に興味がある場合は受講できる。

【参加者数】 13人

【講 師】 広島大学大学院教育学研究科 教授 林 孝
広島大学大学院教育学研究科 准教授 曾余田 浩史
大柿自然環境体験学習交流館 館長 西原 直久

【企画・運営のポイント】

（1）教員の体験を豊かにする

教員自らが自然体験活動等を行うことにより、体験活動の意義や教育的効果を体感できるようにする。そのために、江田島の「海」を活用した「海辺の生き物観察と指導法」や「カッター研修」を行ったり、「野外炊事」を行ったりする。

（2）「体験と知識を結びつけるプログラム」で研修効果を高める

研修プログラムを実習と講義を組み合わせたものにし、体験と知識を結びつけることで理解を深め、学校現場で活用できる力を身に付けられるようにする。「海辺の生き物観察と指導法」では、江田島の「海」に生息する生き物たちに直接触れたり、荒代海岸に行き採集したりして指導法について学んだ後、講義を受け理解を深める。

（3）宿泊研修で受講者（教員）間のネットワークを築く

受講者（教員）が児童・生徒の宿泊研修と同じように寝食を共にし、学び合い・語り合うことで、教員間のネットワークを築くことができるようにする。最初のレクリエーションの実習でアイスブレイクを体験することで緊張を解き、その後の活動や交流を活発に行えるようにする。

【活動の実際】

(1) 内容 「教科指導、生徒指導その他の教育の充実に関する事項」(選択18時間分)

- ①〔講義〕教育の課題に関する理解(1.5h) 広島大学大学院教育学研究科准教授 曾余田 浩史
(内容)教育の現状と今日的な課題に関する講義
- ②〔講義〕体験活動に関する理解(2.0h) 広島大学大学院教育学研究科教授 林 孝
(内容)体験活動の意義や学習指導要領における「体験活動」の位置づけに関する講義
- ③〔実習・講義〕体験活動に関する技能の習得
 - ア〔実習・講義〕カッター研修(2.0h) 国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 杉原 直樹
(内容)カッター研修の教育的効果に関する実習・講義
 - イ〔実習〕野外炊事(2.0h) 国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 杉原 直樹
(内容)宿泊活動でよく行われる「野外炊事」の基礎的な技術を習得する実習
(なたの使い方・かまどづくり・ご飯の炊き方・安全指導・後片付け等)
 - ウ〔実習・講義〕海辺の生き物観察と指導法①～③(7.0h) 大柿自然環境体験学習交流館館長 西原 直久
(内容)海辺の生き物の観察及び採集を行い、実物体験の意味と指導法を理解する実習・講義
 - エ〔実習〕レクリエーションの意義と指導方法(2.0h) 国立江田島青少年交流の家企画指導専門職 福江 大幸
(内容)子ども同士の関係を円滑にするためのレクリエーションの意義と指導法を学ぶ。
- ④履修認定試験(1.5h)

(2) 日程

【第1日目】12月24日(水)

	12:00	12:30	13:00	15:00	15:20	17:50	18:30	20:30
	受付	ガイダンス・開講式	実習 レクリエーションの 意義と指導方法 (2.0h)	休憩	実習・講義 海辺の生き物観察と 指導法① (2.5h)	休憩	夕食 (情報交換会)	入浴

【第2日目】12月25日(木)

	7:00	8:30	9:30	12:30	13:30	15:30	16:30	19:30
実習・講義 海辺の生き物 観察と指導法③ (1.5h)	朝食 休憩	実習・講義 海辺の生き物観察と 指導法③ (3.0h)	昼食 休憩	実習・講義 カッター研修 (2.0h)	休憩	実習 野外炊事 (3.0h) *食事・休憩(1.0h)を含む	入浴	

【第3日目】12月26日(金)

	7:20	8:40	10:40	11:00	12:30	13:30	15:00	15:30
朝食 休憩	講義 体験活動に関する 理解 (2.0h)	休憩	講義 教育の課題 に関する理解 (1.5h)	昼食 休憩	履修認定試験 (1.5h)	閉講式	解散	

※自然条件により、屋内プログラムに変更する場合があります

(3) 活動の様子



レクリエーションの意義と指導方法



海辺の生き物観察と指導法



野外炊事

【成果】

- 講義と実習を組み合わせることにより、体験と知識がつながり、受講者の理解が深まり、指導技術や教育活動への取り入れ方等、実践に活用できる力を身に付けることができた。
- 教員自らが自然体験活動を行うことにより、体験活動の意義や教育的効果を体感すること

ができた。

- 単なる「免許状更新講習」の単位習得に留まらず、所期のねらいを十分達成することができた。
- 「人間関係づくりに始まり、体験活動、それを踏まえての講義・内容のまとめという流れがよかった。」という感想も見られ、体験と知識を結びつけながら理解を深めるという効果が感じられた。
- 海辺の生き物観察では、「改めて参考になった。勤務している学校の海岸を観察してみたいと思った。」という感想も見られ、実践に活かそうという意欲が感じられた。

【今後の課題】

- 参加者からの意見として、開催時期や参加者の年齢を考えると、本講習に Cutter 研修を取り入れる必要があるのかというものがあつた。Cutter 研修は当交流の家のメインプログラムであり、受講生に体験してほしいという願いはあるが、「基本的な体験活動指導技術を実習を通して身に付ける」というねらいがより効果的に達成できるのであれば、Cutter 研修である必要はないと思われる。